

# 施策評価表

1次評価日（課長等）	26年10月1日
2次評価日（部長等）	26年10月1日

## 1 施策の概要

施策名	都市緑化の推進	コード	15-2
この施策の主な内容（細施策）	①都市の緑の創出と保全、②協働による緑化推進		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	都市の緑は生活に憩いと安らぎを与えてくれるなど、良好な都市環境を保つ上で重要であり、公共施設や民有地の緑化を市民と協働により進める。		
担当部課	部 建設水道部	課等 土木課	作成者 古川 幸男

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 緑地面積	㎡		9,570	9,778	9,570	97.9%	9,985	10,085
指標説明	第4次総合計画後期基本計画より、団地内整備、工業団地などの整備計画に併せた民地等の緑地面積							
② 樹名板の設置数	本		20	40	41	102.5%	60	80
指標説明	第4次総合計画後期基本計画より、街路樹に樹名と街路名を示した樹名板の設置数							
③						#DIV/0!		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	5,637	6,571	6,200	6,667
人件費	8,000	8,000	8,000	8,000
合計コスト	13,637	14,571	14,200	14,667

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

市内の街路樹やポケットパーク等の剪定や消毒など樹木の維持管理については、経費節減を図りながら適正に実施された。  
街角緑化や民有地等の緑化を実施することで、街中の緑化を推進することができて街中の景観の向上が図れた。

\*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	街路樹の除草などを個人や地域で取り組むなど、緑化意識の高い市民が多い。
岡谷市の弱み	まちづくりや除草ボランティア等への市民参加の土壌が十分とは言えない。

### 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	一部地域や商業会で、自主的な街路樹管理が行われ始めた。
不利に働くもの	財政事情の悪化により、維持管理費に制約がある。高齢化による事業への参加が減少する。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

- 基本的な考え方 \*優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
\*見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	行政や民間だけでは十分な管理ができないことから、地域住民の方々との協働が不可欠であり、街路樹管理への取り組みを地域等へ働きかけを進める。 また、緑化意識のより一層の高揚を図るため、若年層も含め啓発に努めていく。
見直しを行う分野	地域で管理している緑地に対しても、市民の緑地として位置づけ、協働しての対応を進めていく。

- 27年度の優先度 \*事務事業の方向性が「継続」の事業についてA~Cにランク付け 直接事業費・人件費の単位：千円  
A：拡大、B：現状維持、C：見直し、-：廃止・完了・統合

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費		人件費		妥当性	方向性	優先度				
					指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度				23年度	24年度	25年度	26年度
1		内部	あり	緑化推進事業	-	-	5,637	6,571	6,200	6,667	8,000	8,000	8,000	8,000	高い	継続して実施	B：現状維持
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	